

埼玉県納税貯蓄組合総連合会優秀賞
税について
寄居町立男衾中学校 三年 松橋 茜

私は税について、わからないことがたくさんあります。どんな税があるのか、税は何に使われているのか。税とは何なのだろうか。私は消費税しか知りませんでした。納めることは知っていても、それがどこに集められ、誰が使うのかもわかりませんでした。そこで様々な税について調べました。

公共の施設をつくったり、サービスをする仕事は、国や県や市などが行うので、そのために必要なお金を、国民や会社などから集めるそうです。これが税金です。例えば、私がノートを買うときの値段にも、税金の分が入っているので、私も税金を払っていることになります。他にも、給料など個人の所得にかかる所得税、亡くなった人から受けつぐ土地や財産にかかる相続税、自動車の燃料であるガソリンにかかる揮発油税、契約書など、取り引きを証明するものにかかる印紙税など、いろいろな税がありました。また、それらの税は国が使う国税、都道府県が集めて、住民のために使う都道府県税、市町村が集める市町村税があります。これで、誰が何のために税を使うのかがわかりました。

調べていてわからなかったことは、直接税と間接税でした。税金は、公共施設やサービスのために使われるほか、お金をたくさんもっている人と、そうでない人の使えるお金の差が開きすぎないように、調整する役割があります。直接税は、所得税がどのくらいあるか、財産をどのくらい持っているかによって税金が決まります。特徴は所得の多い人から多く、少ない人から少し税金を集めることで、税金を払った後に残る金額、実際に使える所得の差を、減らすことができることです。間接税は、お金をどのくらい使ったか、その額によって税金の額が決まります。同じ値段のものを買えば、誰でも同じ額の税金を払うことになります。所得の差に関係なく、平等にかかる税金で、景気による税収の変化も、直接税より小さいことが特徴です。我が家は父が公務員で、給料明細書を見せてもらったら、所得税と地方税の欄があり引かれていました。貧乏なので消費税などの間接税が少ない方が家計費が楽になるということです。

税金は、引かれるという悪いイメージがありますが、その税金で子供が学校に通うお金を助けたり、病院でかかったお金、生活にかかるお金、家賃など、仕事につけるように助けたりもしてくれます。

私が思ったことは、車で考えると、普通車よりも軽自動車の方が、税金が安い。そして、燃料費が少なくてすむので揮発油税が少なくてすむ、それに上乗せされる消費税も節約できる。車を持たなければ、税金を払わずにすむ。私の家も借家であれば、固定資産税を払わずにすむ。でも、税金が人のためになるなら将来頑張って働いて、高額納税者になり、日本を支えるのが理想だと思いました。